

## 研究発表会開催のお知らせ

～「ここに居てもいいかな」と思えること～

# 暮らしの中にある『居場所』『居ごこち』『拠りどころ』とは



本研究会は、社会的養護のもとで暮らすすべての子どもの「育ち」「育て」について、毎年テーマを決めて発表会を行っています。今年度は、社会的養護の子どもが感じる「居場所」「居ごこち」「拠りどころ」についてシンポジウムを開催します。社会的養護で暮らす子どもが「ここに居てもいいかな」と感じられるということはどのようなことか。また、そのプロセスにはどのようなものがあるのか、そのために養育者はどのような工夫をしていけば良いのか、についてあらためて考えていきたいと思ひます。当日は、社会的養護に関わる方々にお集まりいただき、皆さまとともに、子どもが感じる

「居場所」や「居ごこち」、「拠りどころ」について考えを深めたいと思ひます。ぜひご参加ください。

**開催日時：令和7年2月28日（金）**

**13：30～17：15（受付12：30～）**

**会場：国立武蔵野学院講堂（東川口駅より徒歩20分）**

開催内容（予定）

- |           |   |
|-----------|---|
| 1. あいさつ   | 梶堀 正信（国立武蔵野学院 院長）   |
| 2. 趣旨説明   | 相澤 林太郎（国立武蔵野学院 心理療法士）   |
| 3. シンポジウム | シンポジスト 牧野 博子（NPO 法人 里親子支援機関 えがお 理事長）<br>坂口 明夫（こども家庭支援センターあまぎやま センター長）<br>畑山 麗衣（NPO 法人 Giving Tree ピアカウンセラー）<br>藪下 聡美（乳児院 積慶園 施設長）<br>関根 祥子（国立武蔵野学院 第6寮 副寮長） |
|           | 指定討論 星野 崇啓（さいたま子どものこころクリニック 院長）   |

参加者：乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター、里親、ファミリーホーム、自立援助ホーム、児童相談所、社会的養護経験者など 約150名程度（申し込み先着順）

参加費：無料

**申し込み：令和7年1月24日（金）受付開始（開始前のお申し込みは無効となります）**

**氏名・所属・連絡先をメールにて下記事務局宛にお申し込みください。**

児童福祉施設（児童自立支援施設）内での開催のため、会場以外の敷地内への立ち入り及び写真撮影はご遠慮下さい。院内での喫煙は禁じられています。また、駐車場のスペースが限られているため、お車での来院はご遠慮下さい。

事務局：国立武蔵野学院 研修課 相澤・佐倉谷  
さいたま市緑区大字大門 1030 国立武蔵野学院  
TEL:048-878-1260 FAX:048-878-1244  
MAIL:[sodachi-sodate@cfa.go.jp](mailto:sodachi-sodate@cfa.go.jp)

